



巻頭言



2022年に教会が直面する 7つの課題

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ代表
中川 健一

2022年に教会が直面する課題とはどのようなものであろうか。代表的なものを7つ上げてみる（順不同）。

1. 希望を告白しよう。

キリストにある者が希望を失うことはない。コロナ禍を通過しながらも、インターネットやZoomの利用により、より多くの人々に語りかけている教会は多いと思う。悲観材料を探せばいくらでも見つかるが、むしろ、試練の時こそ神の業を見るチャンスではないか。

2. 優先順位を確認しよう。

教会に与えられている第一義的使命は、伝道と祈りである。未信者のすべてが福音に対して心を閉ざしているわけではない。中には、心が開かれている者もいる。伝道を最優先させることが、教会成長の秘訣である。

3. 普遍的教会と地域教会の バランスを保持しよう。

神は今も、キリストのみからだなる教会を建て上げておられる。これが普遍的教会である。普遍的教会は、信者だけを含む不可視の教会であるが、地域教会は、信者と不信者を含む可視的な地上の教会である。普遍的教会の視点に立てば、さまざまな宣教協力が可能

になる。教会とパラチャーチの理想的な関係は、普遍的教会の視点に立つことによって初めて現実のものとなる。

4. アナログとデジタルの バランスを保持しよう。

コロナ禍を通して、日本のキリスト教界もデジタル革命の恩恵を深く認識するようになったが、デジタル技術だけに依存するのは危険である。人間は、「人格的な交わり」を必要としている。つまり、アナログ的交流がなければ、本当の意味での魂の充足はないということである。

5. 変化に備えよう。

変化を嫌う教会は、急速に衰退していくであろう。「今までこうしてきた」とか、「そんなことはしたことがない」とかいう言葉は、禁句である。時代は急速に変化している。基本的な教理に関わりのない周辺の事項は、それが過去の伝統であるとしても、固執すべきではない。変えるべきものと、変えてはならないものを見分ける目が必要とされている。

6. 水平の成長を志向しよう。

日曜日の礼拝出席者を増やそうとするのは、垂直の成長を求めることである。しかし、垂直の成長を求めただけでは不十分である。それと同

時に、水平の成長も志向すべきである。水平の成長とは、日曜礼拝以外のプログラムを企画し、時、場所、形式などに囚われない活動や交わりを実行することである。インターネットの普及により、教会はボーダレス化の時代に突入した。同じ教団に所属する教会であっても、距離が離れている場合は、協力関係を維持することは困難である。むしろ、同じ信仰に立つ近隣の教会との水平の関係を築くことの方がより現実的である。

7. 牧師不足に備えよう。

全国に約8千あるプロテスタント教会のうち、牧師のいない教会は300、兼牧も含めるとその数は約1千教会に上ると言われている。牧師不足に備える最善の方法は、祭司万人説に立ち返り、教える賜物のある信者が「長老」として奉仕を始めることである。その場合、いわゆる「天幕伝道」(自給伝道)を積極的に評価する必要がある。今は、複数の仕事に従事することが、社会通念として定着し始めている。同じ考え方を教会に適用する必要がある。牧師が世俗的な職業に就くことは、奉仕の幅を広げることにつながるであろう。



アジアアクセス・ジャパン

http://asianaccess.or.jp/

〒359-1104 埼玉県所沢市櫻町 6-16
info@asianaccess.or.jp

私たちアジアアクセス・ジャパンは、これまでスクラム伝道、ELI英会話伝道、日本教会成長研修所 (JCGI)、ソングライズ、フレンドシップゴルフ、ライフミニストリーズ等、日本の諸教会が強められ、リーダーが生み出されていくことに取り組み続けて来ました。

2017年からは、「JCGIネットワーク」の名称から、日本からアジア14カ国にまで広がった働きとの交わりも強め、日本に遣わされている宣教師との協力関係も深めて、日本の教会により良くお仕えるために「アジアアクセス・ジャパン」と名称を変更して主の導きの中、歩んでおります。

現在は、2つの指導者研修を行っております。30-40代の牧師12名で学習共同体を形成し、教会指導者研修を行っております。新型コロナの影響でセッションはここまですべてオンラインで開催して来ました。今後、日本の各地を巡りながら、その場で働かれています。

る主の御業を見つつ、日本の宣教を担うリーダーを育成していきたいと願っています。

もう一つの研修は、U30牧師研修として、20-30代の牧師研修を行っております。同年代の働き人の教団教派を超えた横のつながりを形成し、こちらもコロナ禍でオンライン研修となりました。

今後、日本の津々浦々に、素晴らしい主の福音が浸透していくことを夢見て、主が建てられたリーダー育成に取り組んで参りたいと思います。



こころの友伝道全国連合会

kokoronotomodendo.net

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 2-19-11 新宿シャロームビル207
電話・FAX 03-3200-5584
kokoro54@galaxy.ocn.ne.jp

●こころの友伝道は、一般人に呼びかける大衆伝道ではなく、牧師とチームを組んだ信徒が、教会に求道心をもって訪ねてきた方に対し、洗礼を受けるまでその心の友となって導く個人伝道です。この伝道は、長い歴史と神学的検討を経て「3つの基本と5つの実際」を定め、これを繰り返しながら実践されています。

●1951年に開始され、1969年に全国連合会が組織されました。各教会のこころの友伝道の奉仕者が、各支部主催の講習会や、全国連合会が主催する年に一度の全国大会に参加して、互いに励まし合い、学び合って研鑽を積んでいます。

●本年は、コロナ禍のためYouTube配信によるオンライン全国大会を開催しました。

●ホームページを開設しました。こころの友伝道につ

いて、内容について順次情報を載せております。ぜひご覧ください。

●検索は「kokoronotomodendo.net」か、「こころの友伝道全国連合会」で入力して検索してください。



第63回こころの友伝道全国大会 in 神戸
こころの友伝道
全国連合会・会長
深谷春男

▲ 全国大会集合写真



日本 YWAM



代表役員 吉田和彦

日本 YWAM は北海道から沖縄までの11箇所で行ってあります。ここでの報告は報告者の活動拠点である沖縄からです。

コロナ禍の中の葛藤は「何を決断するか」という事でした。こんな時だからこそつと伝道したいという思いと、感染防止のために自粛しなければならぬという思い。何かを「やる」という決断が、信仰なのか、それとも無謀なのか。「しない」という決断が信仰なのか、それとも常識あるものなのか。その問いかけを繰り返してきた一年半でした。

「何を決断するか」という事でした。こんな時だからこそつと伝道したいという思いと、感染防止のために自粛しなければならぬという思い。何かを「やる」という決断が、信仰なのか、それとも無謀なのか。「しない」という決断が信仰なのか、それとも常識あるものなのか。その問いかけを繰り返してきた一年半でした。



福音ネット伝道協力会



代表 小川政弘

私どもの団体では、ドラマで福音を伝えるべく、1975年の設立以来、今日までの46年間、一貫して福音ドラマを制作公開してきました。メンバーの持ち回りで台本を書き、東京の練馬バプテスト教会の録音室をスタジオにして録音し、1か月かけて編集し、私どものウェブサイトに「この指とまれ」で公開する、というスタイルでした。

ところが、昨年の1月、日本に香港から来たクルーズ船の乗客に、新型コロナウイルスによる感染者が発見されたところから、日本はもろろん世界中が100年に1度の大災禍に見舞われるという不測の事態の中、私どものドラマ制作も、大きな変化を余儀なくされました。

クなしで録音、さらには、かなり離れた距離や側面からでも音を拾ってくれる高性能マイクを購入するなど、ともかく一堂に会して録音するスタイルを維持するべく、最大限の努力を払ってきました。

けれども、そのやり方にも限界が来ました。昨年12月、最初の緊急事態宣言が出たのを機に、意を決して、新しい制作方式に切り替えたのです。それはZoomによるオンラインでリハールをし、その後、出演者の各自が、自分の役を自宅で録音して編集者のもとに送り、編集者がそれを1本の完パケドラマに仕上げるというものでした。音声のクオリティを保つために、各自、テーブルや段ボールを利用して、音の拡散や雑音を避けるため、毛布をかけて臨時スタジオを作って吹き込んだり、それぞれに違う録音環境で録った音声の均一化を図るため、数度にわたる録音のやり直しをしてもうったりと、それまでには余分な作業を強いられました。そのため、録音から公開までの時期も、1か月から3倍の3か月に延びました。

それでも、神様のあわれみのもと、私たちのミニストリーが休止に追い込まれることなく、ここまで続けてこられたのは、本当に感謝です。このような時期だからこそ、苦勞して作り上げたドラマが家庭で聴かれ、魂の救いにつながっていきますよう、切に祈っています。



近況& 祈りの課題

vol.96
2021年12月

福音ネット伝道協力会

● 祈りの課題

- (1) インターネット配信伝道番組「この指とまれ」が、世界の人々に聴かれるように。またコロナ禍のオンライン録音でも、高クオリティのドラマ制作できるように。
- (2) 5大コンテツの充実
- (3) 「この指とまれ」の充実
- (4) *新約聖書ドラマ「イエスに出会った人々」
- (5) 旧約聖書ドラマ「神を見た人々」
- (6) *日本語版解き放たれた人生」
- (7) 聖書・名作朗読 * Biblica You version 「新約」。(※は制作済)
- (8) 同労者(出演者) 現在の(各)出演 男性4名、女性3名、計7名、編集 女性1人、運営委員 男性牧師1人、感謝。更に参加者が与えられるように。
- (9) 伝団協の他の伝道団体と、宣教協力ができるように。TWR、BNNに番組提供。PBASBRIDGEに提供準備中、感謝。

URL: <https://konoyubi-drama.jmdfree.com/>

日本YWAM

多くの宣教師や訓練生、伝道チームが日本に来るためのビザが発行されるのを待っています。安全に国が開かれ、日本宣教のために神様が呼んでおられる宣教師たちが入国出来る

ように。

今年の7月、今まで東京台東区にありました日本YWAMナショナルオフィスを沖縄に移転しました。福音宣教のために更に用いられますように。

総動員伝道

●2021年9月、10月にかけて「Walk with Jesus: 三國街道歩いて伝道」、210キロを10日間で完歩し、4200枚の印刷物を配布してきました。

●2022年1月10〜11日 断食祈禱聖会をのびで行います。設営がちゃんと出来、多くの人に参加(視聴)していただけるように。

●次回の伝道団体連絡協議会で、会長の交代を祈っています。心ざわしい団体から、心ざわしい人事が起ることを祈ります。

お茶ノ水クリスチャン・センター

●館内団体のみならず各教会、教団、教派を超えて宣教団体と一致協力して多方面から宣教を考え、日本伝道のために仕え、用いられますように。●主催集会が再開され救いと癒しのために用いられますように。助けが

与えられますように。

ハーベスト・タイム ミニストリーズ

中川健一

12月中旬に、「中川牧師の一日一章」を出版することになりました(イーグループ社)。出版の動機は、毎日聖書を1章ずつ読んで静思の時を持つための助けとなる本を出すということです。日々の解説を1800字以内で収めました。また、各章の冒頭で「この章から、以下のことを学びましょう」という項目を設け、要点を簡単にまとめました。このような体裁になっていますので、一日分の解説は、普通に読めば5分前後で読み終わると思います。もちろんじっくり時間をかけて読んでいただいても結構です。

●「中川牧師の一日一章」は、旧約聖書4巻、新約聖書1巻の全5巻のシリーズになる予定です。筆者は「聖書研究から日本の霊的覚醒(目覚め)」というテーマを掲げ、そこに基いて活動しています。本書が、「日本の霊的覚醒(目覚め)」に少しでも寄与することができると祈ります。

高校生聖書伝道協会 (Hi-b.a.)

●日本宣教70周年を迎え、9月23日に記念本大会をオンラインで開催いたしました(YouTube: Hi-b.a. 70周年)と検索しますと閲覧できます。●日本にいるすべての高校生に福音を届けるために、諸活動が用いられるように祈りください。

●10月からは対面の集会を再開しています。また、年末年始には2年ぶりに主催キャンプも計画していま

す。オンライン対応の期間が長かったために、まだまだ高校生が対面の集会に戻って来ないというのが現状ですが、諸集会がより良く高校生たちのために用いられるようにも覚えてお祈りください。オンライン集会も継続しています。

PBA 太平洋放送協会

〔祈禱課題〕

●放送伝道70周年に際し、全国の放送伝道協力会の先方と祈りの時を持っています。諸教会のお働きが支えられ、あらゆる必要が満たされま

すように。

●ラジオ「世の光、テレビ「ライフ、ライ」を通して、多くの方々にキリストの愛と希望を届けることが出来ますように。

●コロナ時代における番組制作に、主の知恵と助けが与えられますように。

リバイバルミッション

●年末年始の配信が祝福されますように。

●2021年12月26日: 年末年始とりにしセミナー「知らずに行ってしまう悪魔の罠... 年末年始2022年1月1日〜4日...

●2021年ニューイヤーパーティの「顧問とサートチームのメンバーによる2022年リバイバルメッセージ」

●人数制限をしながらのハイブリットDRP集会&ライブ配信集会

日時/2022年1月10日(月祝) 14:00〜17:00

会場/新城教会 (限定150名)

●霊的戦い専門課程のためにGOTMミッションのために●聖日礼拝・伝道会・各セミナーの講師派遣。クリスチャンミュージシャン・音響派遣。YouTubeライブ配信のお手伝いなど、各教会に任せ、教会の必要にお応えする計画! ●各配信プログラムなどの祝福のために。

東京プレーヤーセンター

●主の導きにより、十一月に設立十周年を迎えましたこと感謝します。●宣教の拠点として、三六五日礼拝と祈り会と学び会を継続し、クリスチャン団体の活動を支援(貸室提供)しています。さらに、再臨の時まで活動を続けるビジョンが与えられ新たな歩み始めています。

●クリスチャンが聖霊様に満たされて元気になる、日本と世界にリバイバルが起されまますように、また、T

●PCの働きが豊かに用いられますように、お祈りします。

小さないのちを守る会

●もつとも小さいのちである胎児を守る思いが共有され、広がり、言い表されていくように。赤ちゃん支援や養子縁組の働きが様々に行われるようになってきました。さらに教会、社会において関心が高まり、胎児を守り、中絶ではなく産む選択をする力となるように。

●いのちをめぐる相談のために主の知恵の御霊の満たしがあるように。

●予期せぬ妊娠の相談のほか、家族や子育ての相談も受けることがあります。いのちを選ぶ決断、相手を尊ぶ態度の養いのために、聞く力と知恵がその都度与えられるように。

●今年度から新会長に就任した國分広士師の支えと導きのために。会長

をはじめ、運営委員は牧師をしながらの働きです。専属の働き人の導きを祈りください。

JCC (日本華人基督徒中心)

●今年7月に東京五輪に合わせて、「随走随伝」という福音伝道活動を始めました。更に10月に、「個人伝道勇士特訓」を実施した後、「随走随伝」活動は日常的になっていきます。

●毎日のように、兄弟らから伝道活動の証しが耳に入っています。同じく10月中旬に、コロナ禍の中にもかかわらず、Zoomで5回目の「おっ?! 聖書が読めてくる」コースの開催を迎えました。これは功を奏し、オンラインで聖書を読む会や聖書学習グループが次々と現れるようになっていきます。

●とりなし祈り 1. 「随走随伝」伝道活動により多くの信徒が参加できますように。

2. 「おっ?! 聖書が読めてくる」学校が日本全国で広がりますように。

3. クリスマスシーズン中に、より多くの魂が救われますように。

新生宣教団

●迫害下にある兄弟姉妹の安全と信仰が守られますように。

●海外のミッションパートナーとの良き関係が、主により守られ、導かれますように。

●全世界の人々の救いのために、全てのマンガシリーズが祝福され用いられますように。

